



※認知症サポーター大柿さんのインタビューより

「家がわからない」と言われて、住所や電話番号を聞いてもわからないという返答でした。

いつも通りに挨拶をし「どこ行かれるのですか？」と声をかけたところ

ウオーキングをしていると、「つつかけ」を履いて、周りをキョロキョロとする高齢女性と出会い、

認知症になっても暮らしやすい地域にしていくため、みんなで認知症を知っていくことが大切です。

## 認知症サポーターをご存じですか？

▶ 問合せ 播磨町地域包括支援センター ☎079 (435) 1841

### 認知症サポーターって？

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症のある人やその家族を温かく見守る応援者です。播磨町では、延べ4,000人を超える認知症サポーターがいます。

認知症になっても暮らしやすい地域にしていくため、みんなで認知症を知っていくことが大切です。

### 認知症サポーターになるには？

- ①認知症サポーター養成講座の開催日時、受講人数、場所を検討し、播磨町地域包括支援センターへお電話ください。(☎079-435-1841) ※開催場所として、福祉しあわせセンターを利用することもできます。
- ②講師紹介を行い、認知症サポーター養成講座を受講していただき、教材とサポーターカードをお渡ししています。



### 対象

主に町内在住・在勤の人  
会社、自治会、各種団体、  
サークルなど



平成31年4月開催時の様子



受講後にお渡しする、サポーターカード



### 内容

時間は90分(要相談)。  
認知症という病気の理解や  
接し方など。  
認知症サポーターの役割に  
ついて。



### これまでの開催場所

- 地域のサロン、ボランティアグループ、保育園  
小学校、中学校、高校、一般企業
- 年に数回、町内在住・在勤の人向けに団体ではなく、  
個別で福祉しあわせセンターに集まったの講座も行って  
います

### 『ありがとうプロジェクト』を推進します



#### 昨年度の取り組み

- ①町内園児・児童・生徒に『ありがとうメッセージ』を募集し、各学校園やJR土山駅前に約2,000枚掲示しました。
- ②『ありがとう』ののぼりを町内約30か所に設置しました。

- ③『“ありがとう”にありがとう』ポスターを掲示しました。
- ④『ありがとうマスク』を制作しました。(播同協と播磨町連合PTAによる)

### 『ありがとうメッセージ』を募集します

～感謝の気持ちが人権尊重の地域づくりの基盤です～

いきいきフォーラムの取り組みの一環として、『ありがとうメッセージ』を募集します。下の用紙を点線に沿って切り取りメッセージを書いて、最寄りのコミセンへご提出ください。集まったメッセージは各コミセンまたは播磨町教育委員会が集約し、掲示させていただきます。

- ▶ 応募方法 下の用紙を点線に沿って切り取りメッセージを書いて、最寄りのコミセンへご提出ください
- ※必要に応じてコピーしてご利用ください。また、コミセン日より8月号にも載せていますので、ご利用ください。
- ▶ 締切日 8月31日(火)

### 人権標語・ふれあい写真を募集します

播磨町人権啓発ふれあいカレンダー2022(令和4)年に掲載します  
※プリントした写真、画像データどちらでも応募できます。  
※写真の被写体(写真に写っている人)の承諾を必ず得てください。

- ▶ 締切日 8月31日(火)
- ▶ 問合せ・応募先 生涯学習グループ  
☎079 (435) 0565 FAX 079 (437) 4193  
Eメール sgaku@town.harima.lg.jp



人権標語

ふれあい写真

8月は「人権文化をすすめる県民・町民運動」推進月間です  
いきいきフォーラムで  
『ありがとう』を発信しよう



毎年8月には兵庫県「人権文化をすすめる県民運動」推進月間に基づいて、「共に生きよう ふれあいのまち」映画会や、「コミセンのつどい」など人権意識高揚のための取り組みを行ってきました。また、各自治会では「いきいきフォーラム」を計画しそれを実践してきました。ようやくワクチン接種も始まりましたが、これらの行事は引き続き延期または中止せざるを得ない状況になっています。▼ 問合せ 生涯学習グループ ☎079 (435) 0565



### 令和3年度 人権標語・ふれあい写真 応募用紙

所属(ご住所)
お名前(ふりがな)
作品(標語・写真タイトル)